

シリーズ 8 南海トラフ巨大地震に備えて 覚えておこう 応急手当

大きな災害が発生してケガをしてしまった場合、また、自分は無事でも家族やまわりの人がケガをしている場合、どうすれば良いのでしょうか。災害時は普段のように救急車が駆けつけられないことも考えられます。こうした場合に備えて少しでも役立つ**応急手当の知識**を身につけておきましょう。

● 止血の方法

● 直接圧迫止血

出血しているきず口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく**圧迫**します。

● 間接圧迫止血

きず口より心臓に近い動脈を手や指で圧迫して**血液の流れを止めて止血**します。

(直接圧迫止血をすぐに行えない時に応急的に行う。)

● 捻挫・打撲

● 捻挫 (ねんざ)

冷水または氷のうで冷やし、**安静に**します。

● 打撲 (だぼく)

打撲部位は、骨折、脱臼、捻挫と同様に**安静にして、原則として冷や**します。

初期には動かしたり温めたりすると、**内出血や腫れ**がひどくなるので注意します。

● 骨折

● **全身および患部を安静にして患部を固定する**
手首や前腕の骨折の場合、**肘関節から指先までの長さの副子**を骨折部の外側と内側に**当てて固定**します。

※副子とは、骨折部の動揺を防ぐため、上肢・下肢及び体に当てる支持物のこと。骨折部の上下の関節を含めることのできる十分な長さ、強さ、幅をもつものが有効で、この条件を備えるならば、どんな物でも構いません。(新聞紙、雑誌、段ボール、棒、杖、傘、野球のバット、毛布、座布団など)

● やけど

● **冷たい水などで痛みがとれるまで冷や**す

その後も濡れたタオルや氷水を入れたビニール袋などで冷やしておきます。**衣服で覆われていても、そのままにして急いで冷水をかけます。**

青色防犯パトロールカー 子どもたちの安心・安全のために...

子どもたちの登下校の安全を見守るため、青色防犯パトロールカー (以下、青パト) に乗って約5年になります。

阪南市におかれましても、青パト2台を保有しおり、平成28年度の青パトの活動実績としまして

● **阪南市防犯委員会をメインに、延べ80日の貸し出し**

● **教育委員会では毎週月曜日、小中学校の下校時間に約1時間程度巡回**

● **健康部・福祉部では毎週水曜日、保育所の周辺を約1時間程度巡回**

● **毎年6月には、青パト講習会を実施**

既に阪南市の公用車には、移動式防犯カメラとしてドライブレコーダーを随時搭載しており今後は、通学路にも防犯カメラ設置が急務であります。

また、各自治会におかれましても積極的に防犯カメラを設置されており、市民の方々が防犯に意識を持っていただくことで、何よりも犯罪抑止力につながると思います。

私の地元・西鳥取校区においては、歴代委員の方々のご尽力により

青パトを1台保有している利点を活かして、随時巡回しています。その結果、校長先生からも不審者の発生が減っていると報告を受けております。

これからも、子どもたちの安心・安全のために、私も出来る限り巡回します。



大切にします あなたの声を

心のもった市政の実現、そして誰もが安心して暮らせ、将来を担う若者たちに胸を張ってバトンタッチできる町づくりの実現をめざします。

小さなことから一つひとつ頑張ります。皆さまの声をお聞かせください。

発行

畑中讓 市政事務所
〒599-0204 大阪府阪南市鳥取 223-9

公式Webサイト
友議号 Yujo-Go!
バックナンバーもご覧頂けます!!
はたなかゆずる 検索
www.hatanaka-yuzuru.com

TEL 072-471-0626
FAX 072-471-4030